

△レキソタン錠・▼細粒 [内]

【重要度】 【一般製剤名】プロマゼパム (U) bromazepam 【分類】抗不安剤

【単位】▼1mg・△2mg・▼5mg錠 ▼1%細粒

【常用量】3～15mg/日

【用法】分2～3

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】強力な静穏・抗不安作用を有し、臨床で、不安・緊張・抑うつ及び睡眠障害に加え、強迫・恐怖症状にも有効な薬剤で、クロルジアゼポキシド、ジアゼパムと比較し、静穏作用、抗不安作用、筋弛緩作用、抗痙攣作用が強い。

【主な副作用・毒性】眠気、ふらつき、疲労感、食欲不振、不安、消化器症状、視覚障害など

【F】84% (1)

【tmax】1～1.5hr (1)

【代謝】ジアゼピン環の開環により ABBP となり、ベンゼン環が水酸化され 3-水酸化体となり、さらにグルクロン酸抱合される (1) 3-水酸化体は、プロマゼパムの 1/3～1/10 の活性を有する (1) 肝で酸化され、グルクロン酸抱合体として排泄 (U)

【排泄】大部分が代謝物 (3-hydroxy-bromazepam、2-(2-amino-5-bromo-3-hydroxybenzoyl) pyridine) として 70～80%尿中排泄 (1) 【CL/F】空腹時投与の AUC より 5.4L/hr (1)

【t1/2】20hr (1) 12 [8-19] hr (U)

【蛋白結合率】70% (1,U)

【Vd/F】およそ 1～2L/kg (5)

【MW】316.15

【透析性】資料なし (1) 中枢移行性が高く Vd がやや大きいと思われるため効率的には除去されないとされる (5)

【相互作用】シメチジン併用によりクリアランス低下 (1)

【更新日】20160216

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。